学校番号	1006

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形要素（色や形）のもつ効果を学習し、ものの見方と表現の基礎を作ります。
ものを自分の目でよく観察して感じ取ったことを表現するデッサン、目的や機能をもとに造形表現をするデザイン、彫刻立体表現など、一年間を通して美術の様々な分野を学び実践します。また、過去の作家や現代の作家の美術作品を鑑賞し、見方・感じ方を深めながら、美術の価値について考えます。
絵具のセットと鉛筆・消しゴム・サインペンなど基本的な筆記用具は必ず毎回持参してください。美術は主体性が重要な科目です。他者の表現を造形的に捉えて良さを感じる視点を持ちつつ、自分ならどう表したいかを考え、試行錯誤を重ねながら、主体的に表現活動をしましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	手のデッサン	自分の手をよく観察し、鉛筆によって描写することを通して、形や陰影、質感をとらえる基礎的な観察力や表現力を高める。	a:鉛筆による陰影表現やハッチングでの立体感・質感の表現について知り、観察して捉えたことを適切に表現できている。 b:思い込みに頼らず目の前の自分の手の全体的な形や細部を、自分の視点でとらえ、創造的に表現できている。 c:鉛筆の表現や、見慣れた手の形を改めてとらえることに関心を持ち、積極的に観察して表現しようとしている。	成果物、制作の様子、グレースケールのワーク	成果物、制作の様子、グレースケールのワーク	成果物、制作の様子
	色を知る	・色の3要素(明度・彩度・色相)と色相環、トーン分類など色彩の基礎知識について学ぶとともに、アクリルガッシュの使い方を学び、基本的な着色の技術をつける。 ・色の分類や効果への知識をもとに、色彩構成のワークを通して自分の中での色のイメージに向き合い、色を感じる力や色彩表現の力を高める。	a:色の 3 要素、色相環、トーン分類、および色の効果について理解している。混色でイメージ通りの色をつくり、丁寧に着色することができる。 b:色が人の感覚に与える効果について深く考え、事物に対する自分のイメージを色彩によって創造的に表現している。 c:色の分類や効果、日常での色の働きなどに興味を持ち、主体的に鑑賞や表現に取り組んでいる。	ワーク、成果物、授業での様子	ワーク、成果物、鑑賞シート、ふりかえりシート	鑑賞シート、ふりかえりシート
	色で表現する	2つのテーマを選び、それぞれ抽象的な色彩構成によってアクリルガッシュで表現することを通して、画面の構成力や色・形による表現を身に着ける。	a:色の組み合わせや配分、形の持つイメージなど、造形要素のはたらきを理解している。イメージした色や色同士の調和を、適切な混色・着色によって表現できている。 b:自分の表現意図に合わせて、画面の中の形の構成や色の配色、配分を試行錯誤し、より自分のイメージに近づけようと創造的に表現している。 c:事物や概念を抽象的な色や形のみで表現することに興味を持ち、色彩表現の価値や面白さを知ろうとしている。	成果物、ワーク	成果物、制作の様子、ふりかえりシート、鑑賞シート	成果物、制作の様子、ふりかえりシート

二学期	名画のレリーフ	教科書を参照し、鑑賞を行うと共に、これまでに学んだ色彩の知識や表現力を生かして絵画作品の模写とレリーフ表現を行う。鑑賞とともに、色彩感覚や造形表現の構成要素を学び、人に伝達するための表現ができるようになる。	a:名画の歴史的価値や意義を理解し、美しい造形要素を取り入れて、レリーフを形作り、描画できている。 b:形、色彩、構成などの絵画の造形要素を抽出し、自分らしく工夫・表現できている。 c:名画に興味を持ち、その表現方法やその作品が表現しようとしていることを理解して、自分の作品に生かそうとしている。	ワークシート、成果物	アイデアスケッチ、成果物、制作の様子	制作の様子、ふりかえりシート、鑑賞シート
三学期	仮面をつくろう	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・世界各地に存在する「マスク」について、鑑賞を通してその表現の幅や美術的価値を知る。 ・1年生の美術の集大成として、自分で主題を生成し、アイデアスケッチを描いて表現の構想を練る。 ・マスクを新聞紙と半紙を使って制作する。 ・相互鑑賞 プレゼンテーション	a:世界のマスクについて調べ、それに基づいて、自分なりのマスクの形を作り上げることができている。 b:自分の惹かれるモチーフや事柄を探し、資料などをもとに自分の目を通してオリジナルのマスクのデザインを生み出すことができている。自分の表現意図に沿って立体造形や彫刻の凹凸を工夫し、創造的に表現できている。 c:立体表現の面白さや歴史的・美術的価値に興味を持ち、前向きに表現しようとしている。	アイデアスケッチ、成果物	アイデアスケッチ、制作の様子、成果物、鑑賞シート、ふりかえりシート	制作の様子、ふりかえりシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度